

あたらしい学校をつくる

滋賀県立高等専門学校 令和10年4月開校予定



基本情報

名 称	滋賀県立高等専門学校
設 置 者	公立大学法人滋賀県立大学
開 校 予 定	令和10年(2028年)4月
設 置 場 所	野洲市市三宅（野洲駅徒歩約17分）
入 学 定 員	1学年120名
設 置 学 科	工学系総合学科 (情報系、電気電子系、機械系、建設・環境系)

※内容は予定であり、変更となる場合があります。

●みんなに知ってほしいこと＆メッセージ

この少子化時代に新しい学校をつくることは賛否があり、定員割れや教育の質をきちんと保証できるのかといった懸念の声を聞くこともあります。しかし、高専は国の理系人材育成のために必要な高等教育機関であり、ことさら製造業割合の高い「滋賀」に高専ができるということは大きな意味があります。

『滋賀県立高専』のウェブサイトをぜひ一度見てください。学校概要やイベント情報、高専開設準備局スタッフブログを掲載しています。小・中学生、保護者、先生方、連携する企業の皆さんと滋賀県立高専をつなぐものとして、今後もこのウェブサイトから色々な情報を発信していきます。高専がこれからの中15歳の新たな選択肢になることを願っています。



滋賀県立高専WEBサイト

準備局は滋賀県立大学内の組織で、令和10年4月に野洲市に開校予定の「滋賀県立高等専門学校」（仮称）の立ち上げに向けた業務を行っています。具体的には、文部科学大臣の設置認可に向けた申請準備、入試制度やカリキュラムの検討、教員の採用、校舎等の施設整備、県内企業との関係構築等、様々な開設準備作業があります。

その中で、私は広報を担当しています。滋賀県に待望の高専ができるということを広く知つてもらい、そして子どもたちに進学先として選んでもらえるよう、どんな学校なのか、どんなことが学べるのかなど、魅力を発信しています。

●業務内容は、

『高専開設準備局』って どんなとこ？

広報・共創係 上原さんに聞きました



上原 三恵子さん

R6年4月滋賀県入庁
南部県税事務所を経て、R7年4月から高専開設準備局に配属。入庁前にはびわこ成蹊スポーツ大学で入試・広報・秘書業務等に従事。

●組織体制は?

準備局では、初代校長予定者である北村隆行先生と7人の準備教員を軸に、事務職員22人を含めて合計30人が働いています。

事務体制としては、総務・施設整備課と学務課の2課があり、予算や全体調整を担当する総務経理係、校舎等の整備を担当する施設整備係、認可申請や教員採用を担当する認可申請係、広報や企業連携を担当する広報・共創係の4つの係で、事務を分担しています。

●業務内容は、

準備局は滋賀県立大学内の組織で、令和10年4月に野洲市に開校予定の「滋賀県立高等専門学校」(仮称)の立ち上げに向けた業務を行っています。具体的には、文部科学大臣の設置認可に向けた申請準備、入試制度やカリキュラムの検討、教員の採用、校舎等の施設整備、県内企業との関係構築等、様々な開設準備作業があります。

その中で、私は広報を担当しています。滋賀県に待望の高専ができるということを広く知つてもらい、そして子どもたちに進学先として選んでもらえるよう、どんな学校なのか、どんなことが学べるのかなど、魅力を発信しています。



▲ 職場の風景 (滋賀県立大学内)

●仕事のやりがいは?

令和7年度6月から「滋賀県立高専開設準備局staff blog」を開設しました。みんなで日常の何気ないことからの教員の研究の話まで幅広い内容を書いています。高専について多くの方に知つてもらい、興味を持つてもらいたいと思います。他にも今の仕事ではゼロから何かを創り出すことや、高専の魅力を周知することが多いです。自分が考える高専の魅力について、多くの方に知つてもらい共感を得ることにやりがいを感じています。

まずは無事に高専が開校できるよう
に着実に前に進めること、その上で、イ
ンナー「ミニユースケーション」にも取り組
みたいと考えています。
これから開校予定時期が近づいて来
ると、これまで以上に大変な仕事も出
てくると思います。そんなときでも、中
で働く人たちがモチベーション高く、一
致団結して目標に向かって進むため
には、組織内での「ミニユースケーション」や
情報発信が大切になります。広報とい
うと外向けのイメージが強いかもしれ
ませんが、中向けの発信も広報の役割
として担いたいと考えています。

●今後、頑張りたい」とは?